

令和3年7月19日(月)  
国土交通省関東地方整備局  
京浜港湾事務所

## 記者発表資料

### 令和2年度優良工事等の事務所長表彰について

国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所では、令和2年度に完成した工事及び完了した業務の中で特に優れた成績を収めた工事、業務、技術者等について、下記のとおり表彰等を行いますので、お知らせいたします。

1. 表彰日：令和3年7月21日(水)
2. 表彰件数：優良工事及び優秀工事技術者・・・1件及び1名  
優良工事・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件  
優良下請企業及び優秀下請技術者・・・1件及び1名  
優良業務及び優秀技術者・・・・・・・・・・1件及び1名  
災害工事(功勞)・・・・・・・・・・・・・・・・1件

例年であれば、全ての受賞者が一堂に会し表彰式を行っておりますが、今年度については新型コロナウイルスの感染防止の観点から、受賞者毎に時間を分けたうえで表彰式を開催することと致しました。

#### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川県政記者クラブ  
神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、川崎記者クラブ

#### 問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 京浜港湾事務所  
副所長 高谷 浩一郎(たかや こういちろう)  
総務課長 砂野 勇人(すなの ゆうと)  
TEL:045-226-3740

## 令和2年度優良工事等の表彰について

### 1. 概要

京浜港湾事務所発注の工事、業務において、令和2年度に完成した工事、完了した業務の中から、その施工及び業務への取り組みが優秀で他の模範となる工事及び業務を選定し、当該業者及び技術者を表彰することにより建設における技術の向上及び円滑な事業推進に資することを目的とします。

### 2. 令和2年度優良工事等 [事務所長表彰] (別紙参照)

- ・ 優良工事及び優秀工事技術者 : 1件及び1名
- ・ 優良工事 : 1件
- ・ 優良下請企業及び優秀下請技術者 : 1件及び1名
- ・ 優良業務及び優秀技術者 : 1件及び1名
- ・ 災害工事(功労) : 1件

### 3. 工事の概要及び表彰理由 [事務所長表彰] (資料参照)

## 別紙

### 令和2年度優良工事等

#### 1. 事務所長表彰

##### (1) 優良工事及び優秀工事技術者

工事名	優秀工事技術者	業者名 代表者名 住所
京浜港貸付国有港湾施設 維持補修工事等	えなみ ひでと 榎並 秀人 現場代理人	信幸建設（株） 代表取締役社長 佐藤 隆 東京都千代田区神田司町 2-2-7

##### (2) 優良工事

工事名	業者名 代表者名 住所
横浜港新本牧地区岸壁（-18m） （耐震）海上地盤改良工事	東洋・あおみ特定建設工事共同企 業体（東洋建設（株）横浜支店） 支店長 佐藤 眞一 横浜市中区山下町 25-15

##### (3) 優良下請企業及び優秀下請技術者

工事名	優秀下請技術者	業者名 代表者名 住所
横浜港南本牧地区コンテナヤード 整備工事（その2）	みちなか かずお 途中 一天 主任技術者	（株）野本建設 代表取締役 野本 信男 神奈川県横須賀市湘南鷹取 2-2-26

##### (4) 優良業務及び優秀技術者

業務名	優秀技術者	業者名 代表者名 住所
横浜港における整備効果 検討業務	うの もとひろ 宇野 元浩 管理技術者	（株）ニュージェック 関東支店長 石井 良尚 東京都江東区亀戸 1-5-7

##### (5) 災害工事（功労）

工 事 名	業 者 名 代 表 者 名 住 所
横浜港臨港道路（南本牧はま道路）緊急復旧工事	五洋建設（株）東京土木支店 常務執行役員支店長 <small>なかむら</small> 中村 <small>としとも</small> 俊智 東京都文京区後楽 2-6-1

国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所  
令和2年度優良工事等の事務所長表彰について  
記者発表資料（参考資料）

令和2年度  
優良工事及び優秀技術者  
優良工事  
優良下請企業及び優秀下請技術者  
優良業務及び優秀技術者  
災害工事（功労）  
事務所長表彰の概要及び表彰理由

令和3年7月21日

国土交通省関東地方整備局  
京浜港湾事務所

優良工事 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	しんこうけんせつかぶしがいいしゃ 信幸建設株式会社		
ふりがな 技術者名	えなみ ひでと 榎並 秀人	職種	現場代理人
ふりがな 工事名	けいひんこうかしつけこくゆうこうわんしせつじいじほしゅうこうじとう 京浜港貸付国有港湾施設維持補修工事等		
工期	(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日		
事務所名	京浜港湾事務所		
工事概要	本工事は、京浜港貸付国有港湾施設の点検・調査及び維持補修工を行った。		
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、京浜港貸付国有港湾施設である横浜港本牧ふ頭・南本牧ふ頭・大黒ふ頭・川崎港東扇島の各岸壁等17施設について、毎月の陸上点検及び海上点検を行い、健全度を確認するとともに、定期的な維持補修工の他、施設利用に支障を来す不具合が生じた際、必要に応じて速やかな復旧対応を行うものである。</p> <p>各施設はSOLAS区域内であり、且つ、船社等の各ユーザーが利用中であるため、点検・維持補修工にあたっては、立入手続き並びに各ユーザーの作業に支障を来すことのないよう緻密な調整、作業計画が不可欠となる。</p> <p>施工期間中は各ユーザーとの連絡調整に努め、制約のある作業時間ながらも、確かな品質で維持補修工を確実にを行い、無事故・無災害で工事を完工した。</p> <p>また、施設運用上で突発的に生じた各種機材の不具合等についても速やかな現地確認を行うとともに、早期復旧に努めた。</p>		
表彰理由 【技術者】	<p>本工事は、京浜港貸付国有港湾施設である横浜港本牧ふ頭・南本牧ふ頭・大黒ふ頭・川崎港東扇島の各岸壁等17施設について、毎月の陸上点検及び海上点検を行い、健全度を確認するとともに、定期的な維持補修工の他、施設利用に支障を来す不具合が生じた際、必要に応じて速やかな復旧対応を行うものである。</p> <p>各施設はSOLAS区域内であり、且つ、船社等の各ユーザーが利用中であるため、点検・維持補修工にあたっては立入手続き並びに各ユーザーの作業に支障を来さないよう緻密な調整、作業計画が不可欠となる。</p> <p>施工期間中は各ユーザーとの連絡調整に尽力し、各種点検を速やかに行うとともに、ユーザー側の施設利用を最優先にしつつも確実な維持補修計画の立案に努め、制約のある作業時間ながらも適切な維持補修工を実施可能とした。併せて、施工中においては適切な安全対策に努め、施設利用に支障を来すことなく工事を完工させた。</p> <p>また、施設運用上で突発的に生じた各種機材の不具合等についても施設利用者の立場に立ちながら、速やかな現地確認と原因究明を行うとともに、早期復旧に尽力した。</p>		

優良工事 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	とうよう・あおみとくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 東洋・あおみ特定建設工事共同企業体
ふりがな 工事名	よこはまこうしんほんもくちくがんべき たいしん かいじょうじばんかいりょうこうじ 横浜港新本牧地区岸壁(-18m)(耐震)海上地盤改良工事
工 期	(自) 令和2年3月16日 (至) 令和3年1月29日
事務所名	京浜港湾事務所
工事概要	本工事は、横浜港新本牧地区岸壁(-18m)の海上地盤改良工事及び調査工を行った。
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、横浜港新本牧地区岸壁(-18m)の海上地盤改良工事及び調査工を行ったものであり、地盤改良工法としては、岸壁本体部・クレーン基礎直下部に深層混合処理杭、岸壁前面及び背面の基礎部にはサンドコンパクションパイルによる改良を実施している。</p> <p>また、国土交通省が提唱するi-Constructionの取り組みにおいて、ICTの全面的な活用及び建設プロセス全体でのCIMモデルの活用による課題解決及び業務効率化を図ることを目的としたCIM活用工事である。</p> <p>活用にあたり、施工CIMモデルは改良杭を個別に表示できるよう、貸与CIMモデルより詳細度を上げて作成し、各モデルを重ね合わせて統合・更新して本工事のCIMモデルとして利活用した。これにより、改良杭の着底深度等の出来型が一目で確認でき、施工管理に寄与した。その他、施工段階でのCIMモデルによる効率的な活用として、3次元地形モデルによる盛上がり土量の算出、今後施工されるクレーンレール基礎杭と深層混合処理杭配置による施工目地との干渉確認など3次元モデルを利用した課題把握に努めるなど、CIMモデル作成により、有用な利活用が成された。</p> <p>横浜港新本牧ふ頭整備事業は、港湾分野のi-Constructionを推進する「港湾整備 BIM/CIMクラウド」のモデル工事としても実施しており、推進委員会での地盤改良工事の出来型・品質管理への活用を目的とするクラウドのプロトタイプ構築作業と同時に進められた。本工事はこれに先駆けて施工された工事であり、CIMモデル作成・利活用とともに委員会の内容を取り入れながら整理されるとともに、本工事で得られたデータをBIM/CIMクラウドに蓄積し、監督・検査への適用性等の検証にも寄与した。</p>

## 優良下請企業及び優秀下請技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 元請業者名	ごよう・みらいとくていけんせつこうじきょうどうきぎょうたい 五洋・みらい特定建設工事共同企業体
ふりがな 下請業者名	かぶしきがいしゃ のもとけんせつ 株式会社 野本建設
下請工事種別	あすふあるとほそうこうじ あすふあるとほそうこう アスファルト舗装工事 アスファルト舗装工
ふりがな 下請代表者名	のもと のぶお 野本 信男
下請住所	神奈川県横須賀市湘南鷹取2-2-26
ふりがな 下請技術者名	みちなか かずお 途中 一夫
職名	主任技術者
ふりがな 工事名	よこはまこうみなみほんもくちくこんてなやーどせいびこうじ 横浜港南本牧地区コンテナヤード整備工事(その2)
事務所名	京浜港湾事務所
工事概要	本工事は、横浜港南本牧地区コンテナヤードの土工、舗装工、排水構造物工、配電線設備工、付帯工、仮設工及び調査工の施工を行った。
下請工事概要	本工事は、横浜港南本牧MC4コンテナヤードの整備として、土工(載荷盛土撤去約102,000㎡)等の施工を行った。
優良下請表彰理由【工事】	2段階の供用開始時期が示され、工期末の翌日から供用開始となることもあり、工期内検査・引渡しの切迫した条件のもと、施工数量増を踏まえ、工期内で完成させる為、最適な車両及び必要な重機台数の確保を行った。また、関係機関との工程や施工による調整の結果に合わせて、最適な配置で通路の切替を行った。 載荷盛土撤去に当たっては、情報化システムを活用し、工期内での完成を達成した。
特筆すべき事項	作業量が大きく、切迫した条件のため、載荷盛土撤去時においては、重機が多数配置され、重機と人が輻輳する状況であった。その条件下で数多くの作業員の取りまとめを行い、調整の結果に合わせて、最適な配置(適切な離隔・車両通行ルート選定など)で通路の切替を行った。



災害工事(功労) 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 会社名	ごようけんせつかぶしきがいしゃ とうきょうどぼくしてん 五洋建設株式会社 東京土木支店
ふりがな 工事名	よこはまこうりんこうどうろ みなみほんもくはまどうろきんきゅうふつきゅうこうじ 横浜港臨港道路(南本牧はま道路)緊急復旧工事
工 期	(自) 令和元年10月10日 (至) 令和3年1月29日
事務所名	京浜港湾事務所
工事概要	本工事は、令和元年房総半島台風(台風15号)により被災を受けた横浜港臨港道路(南本牧はま道路)の橋梁上部工、橋梁付属物工、舗装工、道路付属施設の復旧を行うとともに、防衝施設の新設を行った。
表彰理由 【工事】	<p>本工事は、令和元年9月9日に来襲した令和元年房総半島台風(台風15号)の強風で漂流した大型船の衝突により、甚大な被害を受け通行止めを余儀なくされた横浜港臨港道路(南本牧はま道路)の早期復旧にあたり、災害時協定に基づく出動要請に応じた工事である。</p> <p>本道路はコンテナ輸送等の重要交通路線であり、通行止め期間を極力短くすることが強く望まれ、早期復旧が必要であった。</p> <p>本工事は、復旧にあたっての各種調査、有識者による検討委員会を経て、損傷の影響と健全度を確認しつつ、桁等の撤去・製作・復旧を同時に進めるとともに、各種の工程短縮を図れる工法を取り入れて着実な施工を進め、令和2年5月7日には通行止めを解除、供用するに至った。</p> <p>また、防衝施設の新設においても様々な工程短縮に努め、台風シーズン前には臨港道路下を通る航路際への設置を行い、同様の災害に備えることを可能とするなど緊急復旧工事として最大限の技術導入と最短の工程管理に努めた。</p>

## 優良業務及び優秀技術者 事務所長表彰の概要及び表彰理由

ふりがな 業者名	かぶしきがいしゃ にゅーじぇっく 株式会社 ニュージェック		
ふりがな 技術者名	うの もとひろ 宇野 元浩	職種	管理技術者
ふりがな 業務名	よこはまこうにおけるせいびこうけんとうぎょうむ 横浜港における整備効果検討業務		
履行期限	(自) 令和2年5月14日 (至) 令和3年3月19日		
事務所名	京浜港湾事務所		
業務概要	本業務は、国土交通省の定める事業評価の手法に基づき、横浜港における港湾整備事業について、その整備効果を分析・評価を行った。		
表彰理由	<p>本業務の対象は、横浜港海上コンテナターミナル再編整備事業、横浜港南本牧ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業(MC3・4)及び横浜港南本牧～山下ふ頭地区臨港道路整備事業であり、これら事業の事業評価においては精度の高い整備効果分析が求められる。</p> <p>本業務では、事業を取り巻く社会情勢の変化を捉え、将来の京浜港全体のコンテナ取扱貨物量の推計、将来の船舶大型化の動向、船社のふ頭再編の意向及び航路サービス等の様々な要素を考慮した各港・各地区における精度の高い貨物量の推計・配分、ならびに、それら貨物量推計を反映した交通量推計が行われた。</p> <p>また、各ターミナルの機能強化による貨物取扱能力を踏まえた各種便益の適切な計測による整備効果分析が実施され、業務目的を十分に満足する成果を上げた。</p>		